

宮古島市総合博物館  
開館 30 周年記念誌  
(平成 30 年度年報 No.28)

# 目次

## ごあいさつ

宮古島市 市長	下地 敏彦	・・・・・・・・ 1
宮古島市教育委員会 教育長	宮國 博	・・・・・・・・ 2

## 第1章 開館30周年記念式典

第1節 宮古島市総合博物館 開館30周年記念式典 式次第	・・・・・・・・ 5
第2節 アトラクション「宮古の古謡」歌詞（抜粋）	・・・・・・・・ 6
第3節 開館30周年記念式典	・・・・・・・・ 7
第4節 謝辞 宮古島市総合博物館 館長 平良 恵栄	・・・・・・・・ 8

## 第2章 宮古島市総合博物館30年の概要と歩み

寄稿 市町村合併後の博物館について 宮古島市博物館協議会 会長 下地 和宏	・・・・・・・・ 11
--	-------------

第1節 宮古島市総合博物館30年の概要と歩み	
（1）沿革	・・・・・・・・ 12
（2）博物館の収蔵資料	・・・・・・・・ 13
（3）施設説明	・・・・・・・・ 13
（4）年度別入館者（平成元年度～令和元年10月末）	・・・・・・・・ 14
（5）宮古島市総合博物館協議会 歴代委員名簿	・・・・・・・・ 15
（6）宮古島市総合博物館 歴代職員名簿	・・・・・・・・ 16
第2節 常設展示	
（1）第一展示室	・・・・・・・・ 18
（2）第二展示室	・・・・・・・・ 18
（3）展示室風景	・・・・・・・・ 19
（4）デジタルコンテンツの整備	・・・・・・・・ 20
第3節 博物館事業	
（1）企画展・特別展示・ミニ展示	・・・・・・・・ 21
（2）子ども博物館講座	・・・・・・・・ 59

第4節 刊行物	
(1) 紀要	・ ・ ・ ・ ・ 90
(2) 宮古島市総合博物館収蔵資料図録・目録	・ ・ ・ ・ ・ 94
(3) 年報	・ ・ ・ ・ ・ 94
(4) 展示案内	・ ・ ・ ・ ・ 95
第5節 新博物館計画の概要	
(1) 新博物館構想	・ ・ ・ ・ ・ 96
(2) 新博物館事業推進フロー	・ ・ ・ ・ ・ 97
第6節 宮古島市総合博物館友の会	
(1) 友の会発足と現状	・ ・ ・ ・ 100
(2) 宮古島市総合博物館友の会主な活動	・ ・ ・ ・ 101
(3) 宮古島市総合博物館友の会歴代役員	・ ・ ・ ・ 102

### 第3章 宮古島市総合博物館年報 No. 28

第1節 組織及び職員構成	・ ・ ・ ・ 107
第2節 入館者数	
(1) 平成30年度月別入館者数	・ ・ ・ ・ 109
(2) 平成30年度児童生徒及び団体見学数	・ ・ ・ ・ 110
(3) 社会科見学（宮古島内小中高）	・ ・ ・ ・ 114
(4) 宮古島市総合博物館協議会委員名簿	・ ・ ・ ・ 115
第3節 企画展・特別展示・ミニ展示・その他展示会	・ ・ ・ ・ 116
第4節 教育普及活動	・ ・ ・ ・ 121
第5節 その他活動	・ ・ ・ ・ 127
第6節 資料（剥製・骨格標本、受け入れ資料）	・ ・ ・ ・ 129

# ごあいさつ

宮古島市  
市長 下地 敏彦

宮古島市総合博物館が開館 30 周年を迎え、記念誌を発行するにあたりご挨拶を申し上げます。

同博物館は、1979（昭和 54）年にその前身となる「平良市歴史民俗資料館」が開設され、1989（平成元）年 11 月には新たに自然科学と美術工芸資料を加えた「平良市総合博物館」が開館し、2005（平成 17）年の市町村合併により「宮古島市総合博物館」へと名称変更して今日に至っております。

その間、数多くの歴史、民俗、自然、美術工芸に関する資料が収集、保管、展示されるとともに調査研究がなされ、多くの市民や研究者等に利用され、親しまれてきたことは、非常に喜ばしいことでもあります。

これまで、博物館へ貴重な資料を寄贈していただきました皆様、貴重な研究成果を紀要へ寄稿していただきました研究者の皆様、そして企画展、博物館講座、子ども博物館等へ多大なご協力を賜りました皆様に対し、あらためて厚く御礼申し上げます。

宮古島市では、宮古島市総合博物館の今後の方向性といたしまして、市総合計画において新宮古島市総合博物館建設推進を掲げ、これまで基本構想、基本計画を策定し、具体化に向けて取り組みを進めてまいりました。そしていよいよ、本年度より建設に向けての作業に着手しております。2019 年度から用地を選定し、2025 年度の完成を目指しているところであり、さらなる博物館の充実、強化を図り、市民に開かれた施設として整備、拡充を進めていきたいと考えています。

結びに、私たちの祖先が残した貴重な文化遺産、自然等を市民のみならず島を訪れる多くの方々に触れていただくとともに、市総合博物館を多角的に利活用することにより、宮古島市に対する認識が一層深まることを期待し、今後とも、宮古島市総合博物館に対する市民の皆様の変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げ、ご挨拶といたします。

# 記念誌刊行に寄せて

宮古島市教育委員会  
教育長 宮國 博

2019（令和元）年11月1日、下地敏彦宮古島市長、佐久本洋介宮古島市議会議長をはじめ、歴代博物館館長、来賓並びに多くの関係者の皆様のご臨席のもと、宮古島市総合博物館開館30周年記念式典並びに「宮古の宝 三十選展」が挙行されました。関係各位に心より感謝申し上げます。

このたび、30年の足跡をまとめた記念誌を刊行する運びとなりました。刊行にあたりご協力いただきました関係者の皆様に衷心より御礼申し上げます。

宮古島市総合博物館の役割は、歴史、民俗、自然、美術工芸に関する資料を収集し、保管し及び展示して教育的配慮の下に一般公衆の利用に供するとともに、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するために必要な事業を行うことにあります。

この30年間において入館者数が約40万人で、収蔵資料は約2万4千点となっております。

また、企画展についても81回、その他特別展示等が開催されるなど、多くの市民や研究者の方々に利用され、親しまれてまいりました。

これまで、当博物館へ貴重な資料を寄贈していただきました皆様、素晴らしい研究成果を紀要へ寄稿していただきました研究者の皆様、企画展、博物館講座、子ども博物館等へ多大なご協力を賜りました皆様、そして歴代館長、学芸員の皆様に対し、あらためて厚く御礼申し上げます。

これからの博物館は、「知産知承」が強く求められております。

知を掘り起こし、知を創造し、知を共有し、継承し発信していくとすることであり、将来の地域文化を担う人材育成の拠点としていくことこそが、さらなる発展への鍵であると考えます。そのため、博物館は挑戦し続ける博物館、市民の皆様のお役にたてる博物館として精進してまいります。

結びに、この記念誌が、少しでも地域の皆様方のお役にたてれば幸いに存じます。

あわせて皆様方のより一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶といたします。